

[048] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10224>

出版情報：語文研究. 48, 1979-12-10. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会彙報

▼昭和五十四年度第一学期講義題目（昭和五十四年四月—十月）

国語学

特講 国語史研究
 演習 国語学の諸問題

奥村教授

” 平曲

特研 方言研究

講義 現代語の研究

演習 万葉集

国文学

演習 書誌学

” 源氏物語手習卷

特研 平安朝文学の諸問題

特講 洒落本史Ⅱ

演習 可笑記

” 西鶴

特研 近世文人伝

講義 中世の歌論

” 中古文壇の研究

▼昭和五十四年度第二学期講義題目（昭和五十四年十月—昭和五十五年三月）

国語学

特講 国語史研究

奥村教授

演習 国語学の諸問題

” 平曲

特研 方言研究

講義 現代語の研究

演習 万葉集

国文学

演習 義孝集

” 大和物語

特研 平安朝文学の諸問題

特講 洒落本史Ⅲ

演習 可笑記

” 西鶴

特研 近世文人伝

講義 中世の歌論

” 中古文壇の研究

▼九大国語国文学会総会並びに研究発表会

昭和五十四年六月三日（日）

研究発表題目

係り結びに関する一考察

——「こそ——已然形」の場合——

歌舞伎台帳の待遇表現をめぐって

——人称代名詞を中心に——

台湾閩南語方言の研究

——日本漢字音研究への展開——

「富士山記」について

” ” ”

（佐賀大学）神部教授
 （福岡女子大学）鶴 教授

今井教授

中野 助教授

” ” ”

（熊本大学）荒木教授

（福岡教育大学）工藤 助教授

田中潤子

山 中

山 泉

山 泉

山 泉

山 泉

山 泉

山 泉

山 泉

山 泉

△白峯Vにおける歴史書の利用
泰山府君と天照大神

若木 太一
橋口 晋作

——延慶本「平家物語」覚一本「平家物語」・
「源平盛衰記」において——

芥川龍之介のシナリオ

三 嶋 讓

逍遙の「理想」について

石 田 忠 彦

支考と季語小考

石 川 八 朗

「源氏物語新釈」成立過程の考察

徳 満 澄 雄

「伊勢物語初段を考える」序説

吉 田 達

地誌および歴史的視野よりの接近——春日齋宮考

用言活用の意義

矢 野 文 博

▼第二十九回西日本国語国文学会

昭和五十四年九月二十二・二十三日

於山口女子大学

研究発表題目(本会々員の分のみ)

芥川龍之介の「邪宗門」について

海老井 英 次

王鬘十帖の結末をめぐって

田 坂 憲 二

平安前期歌壇の構造

工 藤 重 矩

——宇多院の場合——

古本説話集「目録」研究上の一問題

山 口 康 子

——下巻第五十の場合——

(福 田 益 和)

「伊勢物語」初段を考える

吉 田 達

——三部作の全体構想について——

夜雨禪師闍陵越宗のこと

中 野 三 敏

▼卒業論文相談会

昭和五十四年五月十九日

▼卒業論文構想発表会

昭和五十四年十一月二十三日

規 定

- 一、投稿は原則として九州大学国語国文学会会員に限るがそれ以外の方に投稿を依頼することもある。
- 二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙三〇枚内外を一応の規定としその際、二枚程度の要旨を添付されたい。
- 三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
- 四、刊行は年二回(春・秋)を原則とする。
- 五、刊行会費は現在年額維持会員二千円(各号二部配布)、通常会員千円(各号一部配布)とする。
- 六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
- 七、会員以外の購読者は毎号ごと誌代を納められたい。